

斎藤いくまを国会へ!

2017年10月1日
No.493

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

安倍・小池たおそう! 9・28国会前行動打ち抜く



●斎藤いくま委員長の国会前アピール

ぜひ、本日の行動を一つのきっかけにして、安倍政権を倒すとともに、第二の安倍政権としてあらわれようとしている小池都知事による希望の党、これを打ち砕いて、労働者民衆にとって革命を起こしていく、そういう運動をこの日本から作り出していこうということを強く訴えたいと思います。



周辺をご通行中の皆さん。いま、まさしく安倍政権が改憲をし、この国の在り方を根本的に変えるということをやろうとしています。でもみなさん、私は本当に対決しなくちゃいけないのは、たしかに安倍政権が第一に悪いわけですが、じゃあその安倍政権の政治を現場においてやってきたのはいったい誰なのかってことです。田中優子総長。私の法政大学の総長です。新聞やテレビでいいことをたくさん言っている。けども彼女は私に大学の中で、戦争反対のビラを撒くのは大学のルールに反するとずっと言ってきたんです。そして、「田中優子総長がいいこと言ってるんだから、その人の権威を守るためにお前はビラをまくな」ということを、私は言われ続けてきました。

そして、そういう連中がいま作ってきた政党が、とんでもない裏切りを昨日しました。多くの人が、なんとか安倍政権を倒したい、この政治を終わらせたい、ずっと

思ってきた。そしてその先頭に立っていた民進党がとんでもない裏切りを昨日おこなった。最初からずっとそうだったんです！

ペテン師が、私たちの代表を気どり、そういう連中の政党がずっと先頭にたってきた。その後ろに、僕らが歩かなくては行けないといわれてきた。もうやめにしましょう。そういう負のスパイラルを終わりにしましょう。僕ら自身が先頭を歩きましょう。俺たちがこの社会を動かしている。みなさん、そうじゃありませんか？ 周辺歩いているみなさん。労働者のみなさん。首相が何を言おうが、社長が何を言おうが、みなさんが働いてこの社会は回っていませんか？ 私は、民主主義とか国民権という言葉の本当の意味は、労働者が働いて社会を動かしているから、その人たちが本当の主人公だから、だから僕らには政治に対して文句言いう権利があるし、僕らが政治をやる権利があるんだってということだと思います。一部の連中が、自分たちのために国や社会を思い通りに好き勝手する。これが法律上は民主主義だ。こんなことが言われているんだったら、私はこの国に必要なのは、一般的な民主主義ではなく、革命だと思います。反乱が必要なんです。みなさん。「憲法を守ろう」はその通りだけれども、さきほど言った通り、私の大学にはとおの昔に憲法はありませんでした。

田中優子総長によって、民進党やそういった連中によって、とおの昔に僕らの現場には憲法はありませんでした。だから若者は、憲法を守ろうなんて言われたってどうでもいいと思うんですよ。

なぜなら僕らは憲法に守られたことがないから。今の若者は、憲法に守られたことなんか一回もないんです。だから憲法を守ろうって言えないんだ。でも生きるために、闘わなくちゃいけない。今の政治はおかしいとみんな思っている。この怒りを、この思いを、形にする政治が、そういう政党が、今この国に必要なだというふうに思っています。私は今回の衆議院選挙、むしろ大チャンスとして、この国を変えていく、そういう一歩として、出馬して労働者のための政党をつくりたいというふうに思っています。

ほんとにわたしたちの思いを体現して、現場から闘い、一つ一つの権利の破壊、人間の誇りを奪うような政治、労働環境、そういったすべてに対して、立ち向かっていく政党をつくりたいというふうに思います。条文をいじくりまわし、法律上のわけのわからない空理空論だけをのべるような、そういう政治を終わりにしたいと思います。この社会を本当に動かしてる労働者の、ゼネラルストライキでこの社会を変えていきましょう。みんなで反対をいい、強行採決をされる。じゃあ、この社会をとめ



てやろうぜ。安倍首相が何を言うが、この社会が誰の力で動いているか、はっきさせてやろうぜ。

そういうことを本当にできる、そういう力を、この日本によみがえらしていきましょう。私がそれこそが、戦争をとめる最大の力だと思っています。どこまで言っても、戦争をやるのは僕らだからです。私たちが戦場に行き、職業も何もかも労働者がつくって、そうやって戦争が行われるんです。僕らが絶対反対で、そんな戦争のための労働を拒否して、立ち上がれば、戦争をやることなんかできやしないんです。私たち自身の力を思い出しましょう。日本の戦後、最初の段階から、憲法9条があるのに、朝鮮戦争が50年代行われました。憲法9条があるのに、日本は戦争に賛成したんです。だけでもそのあと、砂川基地反対闘争があり、70年安保があり、そうやっていまの憲法が憲法になったんじゃないですか。私たち自身の力が、今の憲法を形にしたんじゃないんですか？

なんで野党が何かを言ったら、憲法が守られるんですか？ 野党が何を言おうが、みなさんは怒りをもってこの場に集まってきたんじゃないですか。私たちは何一つ折れてないんです。野党がいくら裏切ろうが、僕らは誰ひとり折れてないんです。そこに真実があります。僕ら自身の力を信じましょう。僕ら自身の力を形にしましょう。安倍政権の改憲に対して、戦争に対して、労働法制の改悪、僕らの人生を無茶苦茶にして、一部の連中が暴利を貪ることに対して、徹底した闘いをもって革命を起こしていきましょう。誰がこの国の主人公か、いまこそはっきりさせましょう。

衆議院選挙、わたしひとりの何かそういうものではなくて、本当にずっと現場で労働運動なんて古いとか、学生運動なんて古いとか、そんなことやったって、もうそんなことは意味がないんだとか、そんなこと言われながら、でもずっと頑張ってきたみなさんの力を使いましょう。そうやって新しい政党をつくっていきましょう。よろしくお願いします。